

鳥取市議会予算審査特別委員会建設水道分科会会議録

会議年月日	令和5年2月27日（月曜日）		
開 会	午前10時49分	閉 会	午後3時36分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席分科員 （7名）	分科会長 勝田 鮮二 副分科会長 加藤 茂樹 分科員 水口 誠 魚崎 勇 足立 考史 太田 縁 吉田 博幸		
欠席分科員	雲坂 衛		
分科員外議員	金田 靖典		
事務局職員	参事兼調査係長 浅井 俊彦 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	<p>【下水道部】</p> <p>下水道部長 坂本 宏仁 次長兼下水道企画課長 山根 陽一 下水道企画課課長補佐 藤田 浩一 下水道企画課財務係長 遠藤 幸二 下水道企画課主査 湯谷 真裕 下水道企画課下水道管理室長 松尾 一繁 下水道企画課下水道管理室主査 田中 裕史 下水道経営課長 太田 潤一 下水道経営課課長補佐 本村 裕司 下水道経営課普及係長 前田 誠 下水道建設課長 河田 耕一 下水道建設課課長補佐 福山あゆみ 下水道建設課主査 黒井 広成 下水道建設課建設第二係長 井上 幸一</p> <p>【都市整備部】</p> <p>都市整備部長 岡 和弘 次長兼都市企画課長 牧野 隆史 都市企画課課長補佐 増田 泰則 交通政策課長 小森 毅彦 交通政策課課長補佐 筒井 真二 中心市街地整備課長 有本 公博 中心市街地整備課課長補佐 雁長 徹 都市環境課長 徳田 剛 都市環境課課長補佐 藪下 昇 道路課長 田村 温 道路課課長補佐 田中 和人 次長兼建築指導課長 太田 忠孝 建築指導課参事 山田 泰弘 建築指導課課長補佐 宮部 将 建築住宅課長 森田 健 建築住宅課課長補佐 大角真一郎 建築住宅課課長補佐 山崎 修 鳥取南地域工事事務所長 長石 良幸 鳥取西地域工事事務所長 植田 勝美</p>		
傍 聴 者	4人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

予算審査特別委員会建設水道分科会に切替え 午前10時49分 開会

◆勝田鮮二分科会長 以上で建設水道委員会を一旦閉会し、予算審査特別委員会建設水道分科会を開会します。

議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆**勝田鮮二分科会長** それでは、議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分を説明ください。太田課長。

○**太田潤一下水道経営課長** 下水道経営課、太田です。そうしますと、当初予算の説明のほうに入ります。説明に当たりましては、お配りしています予算審査特別委員会当初予算説明資料の資料1、これに沿って、職員の人件費を除く、おおむね100万円以上のものについて、順次、担当課から説明をさせていただきます。

それでは、資料1の2ページ、御覧ください。衛生費の保健衛生費、公害対策費です。予算書は214～215ページになります。まず、真ん中、5の合併処理浄化槽設置費補助金でございます。予算額は517万2,000円、財源内訳としましては、国・県支出金が240万6,000円、一般財源276万6,000円となっております。これは、下水道等の整備が見込まれない区域におきまして、合併処理浄化槽を設置する方に対して、設置費の一部を補助する制度であります。本年度、過去の実績等を勘案しまして、新築6基、転換2基、計8基の補助を見込んでおります。特定財源240万6,000円と申し上げましたが、このうち、国のほうから151万8,000円、これは新築6基、転換2基の8基分両方についてです。県からの支出金が88万8,000円、これは、単独浄化槽等からの転換を2基と見込んだ部分の上乗せの分でございます。

続いて、下がって、事務費です。事務費の中の浄化槽事務費、予算額は300万1,000円です。これは、内容としましては、県から移譲・移管を受けた浄化槽法に係る事務の経費であるとか、浄化槽の維持管理、法定検査等に係る指導事務に係る経費であります。会計年度任用職員の人件費、1名分の人件費、それから、管理指導通知費用とか、啓発チラシ作成に係る経費、あと、浄化槽保守点検業者の登録・更新に必要となりました、浄化槽管理士に対する研修開催を毎年しておりまして、これを、県と保健所設置市の本市で、開催・運営費用のほうを折半しているということでございます。下水道経営課からは、以上です。

◆**勝田鮮二分科会長** 松尾室長。

○**松尾一繁下水道企画課下水道管理室長** 下水道管理室、松尾です。下水道管理室所管の予算について説明させていただきます。2ページを御覧ください。衛生費、保健衛生費、公害対策費、浄化槽等維持管理費の施設維持管理費（浄化槽分）で、予算額は457万3,000円でございます。これは、青谷町地域の市設置型の合併浄化槽35基、及び、鹿野町地域、青谷町地域の個人設置から市に移管されました合併浄化槽、鹿野地域22基、青谷地域23基でございます。それに伴います管理委託、汚泥の引き抜き運搬などの維持管理を行うための経費430万2,000円と、施設使用料、浄化槽分でございますけども、それに伴います賦課徴収に係る経費27万8,000円です。特定財源のその他につきましては、施設使用料、浄化槽分212万9,000円でございます。

続いて、施設維持管理費（コミプラ分）です。予算額は691万8,000円でございます。これは、旧青谷町において、栄町住宅団地、約130戸です。団地のし尿、生活排水を処理する施設として整備されました、青谷町栄町コミュニティプラント施設の管理委託や、汚泥の引き抜き運搬などの維持管理を行うための経費650万5,000円と、施設使用料、コミプラ分ですけども、それに伴います賦課徴収に係る経費41万3,000円です。特定財源のその他につきましては、

施設使用料、コミプラ分、322万6,000円でございます。

続きまして、3ページを御覧ください。土木費、都市計画費、都市下水路費、維持管理費のポンプ場管理費で、予算額は798万円でございます。これは、雨水排水施設のうち、下水道の認可施設に位置づけていない安長ポンプ場、宮長第2ポンプ場の保守管理に係る経費と、台風・大雨時等の運転に係る経費でございます。

続いて、地域下水等維持管理費で、予算額は1,217万5,000円でございます。これは、市街化区域内の雨水排水で、下水道事業認可区域内に位置する法定外水路、青線と、団地造成等により整備された管路、下水道施設認可外の管路になりますけども、の清掃・しゅんせつ等に係る経費でございます。下水道管理室所管の予算については、以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 山根次長。

○山根陽一次長兼下水道企画課長 下水道企画課、山根です。続きまして、2ページにお戻りいただいて、2ページの下ですけども、農林水産業費、他会計繰り出し、下水道等事業会計へ繰り出しで、予算書は236ページ、事業別概要は215ページでございます。予算額14億4,100万円余り、前年度に比べますと、2,300万円余りの減ということでございます。財源は一般財源となります。下水道等事業会計の、こちらでは集落排水事業になりますが、健全な運営を図るため、一般会計からの繰出金で、集落排水施設の維持管理や、建設事業債の償還に対する繰り出しです。繰出金の目的につきましては、先ほどの補正予算の中で御説明したので、省略させていただきます。

下の3ページ、御覧ください。3ページの表の一番下、土木費、他会計繰り出し、下水道等事業会計へ繰り出しで、予算書は258ページ、事業別概要書は215ページです。下水道等事業会計へ繰り出しで、こちらは、公共下水道への繰り出しとなりますが、予算額22億4,400万円余り、前年度に比べますと、230万円余りの減でございます。

資料にはございませんが、先ほどの集落排水事業への繰出金と合わせまして、一般会計からの繰出金の合計は、36億8,500万円余り、前年度に比べて2,500万円余りの減ということをご予定しております。繰出金の充当先など、詳細につきましては、企業会計のほうで説明させていただきます。

以上で、一般会計予算の説明を終わります。よろしくお願いたします。

◆勝田鮮二分科会長 説明いただきました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第17号令和5年度鳥取市下水道等事業会計予算（説明）

◆勝田鮮二分科会長 それでは、次に、議案第17号令和5年度鳥取市下水道等事業会計予算を説明ください。山根次長。

○山根陽一次長兼下水道企画課長 下水道企画課、山根でございます。それでは、令和5年度鳥取市下水道等事業会計予算を説明させていただきます。資料のほうは、同じ資料の続きとなり

ます。4ページからとなります。

資料の5ページ～7ページの下水道等整備現況図につきましては、先日の全協で、部長の説明と重複いたしますので、説明を省略いたします。

資料の8ページ、御覧ください。下水道等事業会計の当初予算案の概要となります。収益的収支では、収益的収入が予算額87億5,100万円余り、前年度に比べますと、4,200万円余り、0.5%の減を見込んでおります。下水道等事業の事業収益の主なものには、下水道使用料や、一般会計繰入金、そして、現金を伴わない長期前受金戻入などがありますが、これらの収入、下水道使用料で、前年度当初に比べて、2,900万余りの減というようなどころを見込んでいます。

一方の収益的支出のほうでございます。予算額86億5,100万円余り、前年度に比べて1億9,400万円余り、率にして2.3%の増を見込んでおります。収益的支出の主なものには、営業費用のほうでは、包括的民間委託に代表されます、施設の維持管理費、それから、非現金支出になります減価償却費、営業外費用では、企業債利子の償還金などがございます。これらの支出が、維持管理費で、電気代などの光熱費の上昇などを見込んでおまして、3億6,000万余りの増を見込んでおりますし、その一方で、減価償却費のほうは5,400万円余りの減、企業債の利子償還金のほうは、8,000万余りの減を見込んでおります。

この結果、当年度の収支の差引きは、1億円余りのプラス、利益を見込んでおりますけども、前年度に比べ、2億3,600万円余りの減と、対前年減収減益予算ということを見込んでおるところでございます。引き続き、水の利用の動向でありますとか、物価の推移等を注視しながら事業を運営して、安全・安心な下水道サービスが提供できますよう、努めたいと考えております。

次に、資本的収支のほうでございますが、資本的収入は、予算額51億8,200万円余り、前年度に比べますと、5億4,600万円余り、率にして11.8%の増。

資本的支出のほうですが、施設の長寿命化対策や、雨水対策を積極的に取り組むことから、予定額79億6,200万円余り、前年度に比べて5億5,900万円余り、率にして7.6%の増を見込んでおります。

以上によりまして、収益的支出と資本的支出を合わせた財政規模のほうですが、166億1,300万円余り、前年度に比べて7億5,300万円余り、率にして4.8%の増を見込んでおります。

それでは、少し細かく、詳細について説明いたします。ページを少し飛んでいただきまして、18ページを御覧ください。当初予算書の内訳書でございます。対前年比較で、増減の大きな項目を中心に説明させていただきます。

収益的収支のうち、営業収益では、下水道使用料が、予定額33億7,500万円余りと、前年度に比べて2,900万円余りの減を見込んでおります。この使用料の詳細につきましては、後ほど、下水道経営課より御説明いたします。

次の一般会計負担金ですが、予定額19億3,700万円余り、前年度に比べて1,600万円余りの増でございます。これは、総務省繰り出し基準に基づく負担金で、汚水・雨水処理等の経費の増を見込んでおるものでございます。

その下、一般会計補助金は、予定額3億4,600万円余り、前年度に比べて3,700万円余りの増、これは主に、資本費平準化債元金償還費用の増を見込むものでございます。

3行ほど下の雑収益ですが、予定額4,400万円余り、前年度に比べて280万円余りの増、こちらのほうは、水質検査料や、汚泥焼却施設維持管理負担金などでございます。これらの増を見込むものでございます。

次に、営業外収益の、2他会計負担金、一般会計負担金は、予定額5億400万円余り、前年度に比べて6,000万円余りの減、こちらは、汚水・雨水処理の経費の減によるものでございます。支払い利息の減によるものでございます。

ページの一番下、長期前受金戻入でございます。予定額24億8,200万円余り、前年度に比べて900万円余りの減となりました。長期前受金戻入は、現金を伴わない、繰延べ収益ですけれども、これは、過去に下水施設の建設や改良をするときに、国の交付金など、受けた補助金などを、資産の耐用年数に応じて、収益に計上していくものでございます。

ここで、先ほど、一般会計当初予算でありました、一般会計からの繰出金の充当先について、説明させていただきます。このページの本年度の一般会計繰入金は、集落排水事業、公共下水道を合わせまして、先ほど、36億8,500万円余りと申し上げましたけれども、下水道事業会計側では、繰入金となります。その充当先としましては、このページの、1営業収益の一般会計負担金19億3,700万円余りと、一般会計補助金3億4,600万円余り、これは、主に公費で賄うべき維持管理費の経費と公債費の財源となっております。

次に、2の営業外収益の一般会計負担金5億400万円と、一般会計補助金2,400万円余り、これは、企業債の利子償還の財源となります。

少しページ飛びまして、26ページになりますけれども、資金的収支の中の4の負担金及び分担金、1他会計負担金、一般会計負担金というところがございまして、これが8億7,100万円余り、これは、主に、雨水処理に係る元金償還に充当しております。繰出金の充当先については、以上となります。

資料20ページに戻っていただきまして、20ページの収益的支出ですけれども、1営業費用全体で、78億3,700万円余り、前年度に比べ、3億4,300万円余りの増でございます。営業費用のうち、1管渠費の全体は、予定額が4億5,800万円余り、前年度に比べまして、2,900万円余りの増となります。管渠費の中ほどの委託料、予定額4億1,100万円余り、前年度に比べて2,600万円余りの増でございますが、内容としましては、包括的民間委託業務でございます。

表の下のほうになります、2ポンプ場の委託料、こちらも、包括的民間委託業務でございまして、予定額2億1,200万円余り、対前年2,300万円余りの増と予定しております。

その下の3処理場費の全体予定額20億5,000万円余り、前年度に比べて3億1,200万円余りの増でございます。

下の21ページを御覧ください。上から4つ目の委託料です。予定額19億3,800万円余り、前年度に比べて3億1,000万円余りの増となっておりますが、これも包括的民間委託業務の増ということでございます。包括的民間委託の増額の主な要因としましては、維持管理費の電気代など、光熱費の上昇を見込んだものでして、運転管理費が増となったことによるものでござ

います。

23ページ御覧ください。23ページの下の方に、7総係費ですけれども、予定額2億2,200万円余り、前年度に比べて1,300万円余りの増でございます。

ページの一番下、退職給付費、予定額1,700万円余り、前年度に比べて690万円余りの増となっておりますが、退職給付引当金繰入額が、人事異動を反映し、増となったものによります。

次のページ、24ページ御覧ください。上から6つ目の委託料、予定額で2,000万円余り、前年度に比べて250万円余りの増となっております。主な内容としましては、令和5年度10月から開始になります、インボイス制度に対応するためのシステム改修費用を計上したことによります。

5つほど下の負担金、予定額8,800万円余り、前年度に比べて1,000万円余りの増となっておりますが、これは、東部広域行政管理組合への負担金の増を見込むものでございます。

5つ下の貸倒引当金繰入額ですが、予定額2,300万円余り、前年度と比べて870万円の減でございます。これは、未収金の回収不能による損失に備える、引当金繰入額の減を見込むものでございます。

その下、8減価償却費、有形固定資産減価償却費は、予定額46億4,100万円余り、前年度に比べて5,400万円余りの減です。これは、下水道等事業で保有している施設などの資産の減価償却費でございまして、一般に、建設改良工事などで、新たに施設を取得すると、償却費のほうは増加となりますけれども、従来から、今ある既存の施設の資産については、耐用年数に応じて、年次的に償却が行われております。その動きでございます。

また、その下の9資産減耗費の固定資産除却費のほうですが、予定額3,300万円余り、前年度に比べて2,200万円余りの増でございます。これは、改築更新に伴って除去する、古い設備の帳簿価額を除くものでございまして、当該年度の改築事業見込みから、除却費を概算で計上しております。

25ページ御覧ください。2営業外費用は、全体で予定額8億300万円余り、前年度に比べて1億4,900万円余りの減です。営業外費用のうち、1支払い利息及び企業債取扱諸費の企業債利子は、予定額7億5,600万円余り、前年度に比べて8,000万円余りの減となります。これは、主に元利均等で借入れする企業債の利子償還額が減少することによります。

2の消費税及び地方消費税は、予定額4,700万円余り、前年度に比べて6,800万円余りの減を見込んでおります。これは、前年度に比べて、建設事業費が増となることによって、消費税の計算上、減額になってくるというようなことでございます。

26ページ御覧ください。続きまして、資本的収支の予算となります。まず、資本的収入について御説明いたします。1の企業債、建設企業債は、建設改良費の財源となるものでして、予定額18億2,000万円余り、前年度に対して、3億1,500万円余りの増となります。建設改良費につきましては、後ほど、資本的支出のほうで御説明いたします。

その下、準建設企業債、予定額11億4,600万円余り、前年度に比べて1,400万円の減でございます。こちらは、下水道事業債特別措置分の減によるものでございます。なお、予定額11億余りのうち、資本費平準化債の分につきましては、前年度同額の10億を限度として、予算

計上しておるところでございます。

その下、補助金です。国・県の交付金は、先ほどの建設企業債と同様に、建設改良費の財源となるものでございます。予定額12億3,900万円余り、前年度に比べて2億9,900万円余りの減となっております。

次の4負担金及び分担金は、全体で、予定額9億1,700万円余り、前年度に比べて740万円余りの減となります。内訳は、1他会計負担金、一般会計負担金は、先ほどの繰入金の充当先として御紹介しましたけども、予算額8億7,100万円余り、前年度に比べて1,900万円余りの減となっております。これは、起債の元利償還に充てるものでございますが、起債償還のピークが過ぎておまして、元金償還額が減少になっているということでございます。

その下、2受益者負担金及び分担金と負担金は予定額4,500万円余り、前年度に比べて1,200万円余りの増を見込んでおります。これは、下の受益者負担金と分担金の増を見込むものでございます。

ページの一番下です。その下、その他資本的収入は、予定額5,900万円余り、前年度に比べて4,500万円余りの減です。これは、道路や河川管理者が行う道路工事、河川工事で支障となります下水道管の移設補償費の減を見込んでおるところでございます。

27ページ御覧ください。資本的支出のほうでございます。1建設改良費、予定額32億9,800万円余り、前年度に比べて6億3,200万円余りの増となっております。内訳は、1管渠費の予定額16億7,600万円余り、前年度に比べて9,100万円余りの増となっております。これは、浸水対策に係る管渠整備費が、前年度に比べて増となったことなどによります。

次の2ポンプ場費でございますが、予定額11億4,300万円、前年度に比べて4億4,700万円余りの増です。これは、主に、吉成ポンプ場の、今行っております吉成ポンプ場の改築に加えて、大杵ポンプ場の改築工事が本格化してくるということでございます。

次に、3処理場費ですが、予定額3億1,600万円余り、前年度に比べて8,600万円余りの増となりました。主に、秋里下水終末処理場で、改築に着手することによるものでございます。各建設改良事業の詳細につきましては、後ほど、下水道建設課のほうから御説明いたします。

28ページ御覧ください。ページ中ほどより下の2企業債償還金は、予定額46億6,100万円余り、前年度に比べて7,400万円余りの減となります。先ほどの資本的収入のところでも説明しましたが、企業債償還がピークを過ぎまして、元金償還金が減少に転じたことによります。

次の3その他資本的支出、返還金でございますが、予定額120万、前年度に比べて119万円の増となっております。これは、受益者負担金等返還金の増を見込んでおるところでございます。

29ページ御覧ください。以上によりまして、ページの中ほど、資本的収支差引きの計ですが、マイナス27億7,900万円余りとなっております。これは、資本的収入が、支出に対して27億円余り不足しているということになります。これは、地方公営企業会計では、資本的収支予算の不足分は、経営活動による利益によって内部留保された資金や、減価償却費などの現金支出を伴わない費用によって内部留保された資金によって補填するということとしております。ですので、補填財源は、下の表のとおりで、損益勘定留保資金、当年度分から19億8,900万円余り、同じく、留保資金の過年度分から7億1,600万円余り、それと、当年度消費税及び地方消費税資

本的収支調整額7,400万円余りで補填することとしております。

下水道企画課からは、以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 太田課長。

○太田潤一下水道経営課長 下水道経営課、太田です。そうしますと、資料2の1の9ページに戻っていただけますか。よろしいでしょうか。この9ページには、下水道使用料の調定額、収入額の表を改めてつけさせていただいております。これ令和2年から出ております、2年、3年の決算額、4年は先ほど見ていただきました、2月補正後の額、5年度は当初予算額という形であります。

実は、この令和2年から載せておりますけど、令和元年のときに消費税が改定になりまして、また、この一番最後の年に、コロナが始まりかけたというような状況がありました。令和2年度から、実は、コロナの影響で、令和2年度は、単籠もり需要で水量のほうは増えていたんですけども、企業の活動がちょっと落ち込んできたという関係で、実質的な、その調定額というのは、税抜きの部分でマイナスというようなことになっておりました。3年度も、その傾向が続き、4年度も引き続いて、今度は人口減少、それから節水意識と、従来からあります節水意識の浸透であるとか機器の普及、こういうのがコロナ禍の影響が続いていることに相まって、ずっと、その調定額、収入額とも減少傾向が続いておるといってございまして。補正のときにもありましたけれども、3年度と比較しても、この辺は減となつとると。5年度についても、この傾向が引き続き続くというふうに見込んでおります。若干、今、水量等見てみますと、大口の者の水量が、ちょっと持ち直してきたのかなというふうなところも見えないことはないんですけども、ちょっとそこは一過性のものかもしれませんので、引き続き、ここは注視していこうとは思っております。

調定額4年度の決算見込み比で、マイナスの2.5%であります、33億7,592万4,000円を見込んでおります。これは、当初予算、4年度の当初予算費でも、マイナスの0.9%というふうなことで見込んでいるところでございます。

なお、徴収率のところにつきましては、例年、これ、98%前後で動いております。5年度につきましても、98%前後、97.9ぐらいになるのかなというふうなところは予想しておりますけれども、こういう方向で動いているということでございます。9ページの説明は、以上です。

◆勝田鮮二分科会長 河田課長。

○河田耕一下水道建設課長 下水道建設課、河田です。10ページを御覧ください。資本的支出のうち、建設改良費の概要について、公共下水道事業、農業集落排水事業の順に御説明いたします。11ページを御覧ください。

最初に、公共下水道事業の管渠費のうち、未普及対策事業です。本事業は、下水道認可区域内の未整備地域を解消する事業で、年次計画を立てまして、順次、汚水管の整備を進めているところでございます。赤色で示した箇所が、令和5年度に新たに整備する工事箇所でございます。令和5年度は、千代川左岸の古海、徳尾などを中心に、8か所の工事を予定しており、未普及解消を着実に進めてまいります。事業費として、5億5,300万円を計上しております。

12ページを御覧ください。公共下水道事業、管渠費のうち、浸水対策事業です。本事業は、

市街地の浸水被害の防止や軽減を図るために、側溝や雨水管の整備を実施いたします。青色で示した箇所が、令和5年度の工事箇所、令和2年度より継続して実施している、国府町新町のほか、布勢、興南町など、計8か所の工事を予定しております。事業費として、5億4,350万円を計上しています。

次に、13ページを御覧ください。公共下水道事業、管渠費のうち、地震対策事業及び改築更新事業です。いつ起こるか分からない地震に備え、幹線となる管渠の耐震化や、破損等が原因で陥没が懸念されるような老朽管に対して、長寿命化対策を実施し、管渠の安全性を高める取組を行います。管渠の耐震化を行う箇所を黄色で、長寿命化を図る箇所を緑色で示しています。旧市街地を中心に、計6か所の工事を予定しております。事業費として3億5,900万円を計上しています。

次に、14ページを御覧ください。公共下水道事業、ポンプ場費の概要を説明いたします。施設の老朽化対策、地震対策を行うため、大杓ポンプ場の雨水ポンプ設備改築工事と、耐震補強工事を予定しています。また、吉成ポンプ場では、昨年の2月議会で、債務負担行為の承認をいただき実施しております、雨水・汚水ポンプ設備改築工事のほか、建屋の改築更新、耐震補強工事を予定しています。事業費として、11億4,370万円を計上しております。なお、大杓ポンプ場改築工事につきましては、令和6年度までの債務負担行為を設定したいと考えています。債務負担行為の概要につきましては、後ほど説明させていただきます。

続きまして、15ページを御覧ください。次に、公共下水道事業、処理場費の概要を説明いたします。施設の老朽化対策、地震対策を行うため、秋里下水終末処理場の汚泥濃縮設備等の改築工事を予定しています。そのほか、ストックマネジメントに伴う調査計画業務として、千代水クリーンセンター等の施設老朽化調査を予定しています。事業費として、3億1,190万円を計上しております。なお、秋里下水終末処理場改築工事につきましても、令和6年度までの債務負担行為を設定したいと考えています。こちらも、債務負担行為の概要につきましては、後ほど併せて説明させていただきます。

16ページを御覧ください。農業集落排水事業の概要を説明させていただきます。施設の維持管理費を削減するため、施設の統廃合を進めており、現在、東郷地区において、平成29年度～令和5年度までの計画で事業を実施中です。令和5年度は、山ヶ鼻地区と高路地区を東郷処理場に接続する管路工事を予定しています。また、新たに、青谷地域の蔵内処理場を日置谷処理場に統合する事業にも着手します。令和5年度は、管路施設、処理施設の実施設業務を予定しています。事業費として、管渠費1億4,793万2,000円、処理場費460万円、合わせて1億5,253万2,000円を計上しております。

次に、30ページを御覧ください。先ほど、ポンプ場費、処理場費の概要で説明いたしました、大杓ポンプ場と秋里下水終末処理場の改築工事に係る債務負担行為の概要について、説明いたします。

まず、秋里下水終末処理場ですが、昭和53年に供用開始してから44年が経過し、機械設備・電気設備を中心に老朽化が進み、処理場施設の機能維持に懸念が生じております。これらの設備を改築するために、2か年にわたる工事を予定していることから、債務負担行為を設定

するものです。日本下水道事業団への委託を予定しており、令和5年度は2億200万円、令和6年度、債務負担行為の限度額は2億500万円でございます。

続きまして、31ページを御覧ください。大杵ポンプ場は、平成2年に供用開始してから32年が経過し、機械設備・電気設備を中心に老朽化が進み、ポンプ場施設の機能維持に懸念が生じております。これらの設備を改築するために、2か年にわたる工事を予定していることから、債務負担行為を設定するものです。こちら、日本下水道事業団への委託を予定しております。令和5年度は2億8,900万円、令和6年度、債務負担行為の限度額は4億9,300万円でございます。

以上をもちまして、下水道部の令和5年度当初予算の概要説明を終わります。よろしくお願いいたします。

◆勝田鮮二分科会長 説明いただきました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二分科会長 では、なしということで、以上で下水道部を終了し、予算審査特別委員会建設水道分科会を一旦終了いたします。執行部の皆さんは退席してください。

建設水道委員会に切替え 午前11時26分 休憩

予算審査特別委員会建設水道分科会に切替え 午後2時23分 再開

◆勝田鮮二分科会長 それでは、以上で建設水道委員会を一旦閉会し、予算審査特別委員会建設水道分科会を開会します。

議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆勝田鮮二分科会長 それでは、議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分を説明ください。牧野次長。

○牧野隆史次長兼都市企画課長 都市企画課、牧野です。よろしくお願いいたします。令和5年度当初予算について御説明いたします。お配りしております、右肩に赤字で資料2と示しておりますA4判横の建設水道委員会資料、説明資料により説明させていただきます。右肩に括弧書きで資料番号、その下にページ番号を表示しております。お手元でございますでしょうか。議案第1号関係につきまして、1ページに示しておりますとおり、令和5年度鳥取市一般会計予算から始め、続いて、債務負担行為の概要と順に説明させていただきたいと思っております。歳入につきましては、歳出の財源がほとんどでありますので、歳出を中心に説明させていただきます。また、説明は、職員費を除きまして、おおむね500万円以上の事業、並びに主要事業についてさせていただきます。御了承を願います。

2ページの上段を御覧ください。都市整備部歳出合計、4年度当初予算額43億9,518万

3,000円に対しまして、5年度予算額は42億8,158万4,000円でございます。以降、各担当課より、順に説明させていただきます。

まず、都市企画課分の令和5年度一般会計予算について御説明いたします。2ページから都市企画課分となります。3ページの一番上の行を御覧ください。予算書は243ページでございます。款土木費、項土木管理費、目土木総務費、細目土木積算システム管理費でございます。右欄に記載しております図面閲覧や加工のためのCADソフト、積算用ソフトなどに対する土木積算システム経費、土木設計図書ソフト運用事業費、営繕積算システム経費といたしまして、合わせて841万4,000円を計上させていただくものでございます。

続きまして、各事業ごとの資料を使いまして、説明させていただきたいと思えます。予算書は243ページ、事業別概要は193ページ下段でございます。国土強靱化地域計画策定事業費でございます。2月13日の全員協議会におきまして、概要を説明させていただいたものでございます。5ページを御覧ください。平成31年に策定いたしまして、令和5年度で計画期間の終期を迎えます、鳥取市国土強靱化地域計画の第2期計画を策定することにより、持続可能で強靱な地域づくりのさらなる推進を図るものでございます。策定業務委託料、学識者等で構成する委員会経費、計画書作成費といたしまして、合わせて738万4,000円を計上させていただくものでございます。改めて資料添付しておりますので、御確認いただきますよう、よろしく願いいたします。

続きまして、6ページを御覧ください。予算書251ページ、事業別概要書194ページ上段でございます。急傾斜地崩壊対策県営事業負担金について御説明いたします。事業内容につきましては、先ほどの補正予算の説明と同様のものでございます。本事業では、鹿野町梶掛地区など37地区での、39件の擁壁工事などを実施するものでございます。予算額として、8,155万円を計上させていただくものでございます。特定財源といたしましては、公共事業等債と緊急自然災害防止対策事業債を活用させていただくものでございます。

続きまして、7ページを御覧ください。予算書251ページ、事業別概要194ページ下段でございます。盛土規制法関連事業費について御説明いたします。12月定例会におきまして、繰越承認をいただきました、本市域に係る経費を負担して鳥取県が実施する基礎調査の結果を基に、令和5年度に追加調査業務を単独発注いたしまして、規制区域の境界設定及び規制区域図の作成などを行うものでございます。調査業務委託料として、772万2,000円を計上させていただくものでございます。特定財源といたしまして、社会資本整備総合交付金を活用するものでございます。

8ページを御覧ください。予算書253ページ、事業別概要195ページ上段でございます。移動等円滑化促進事業費について御説明いたします。2月20日の全員協議会で報告させていただいた鳥取市バリアフリーマスタープランに即しまして、重点整備地区における公共交通機関、建築物、道路等の具体的な事業を位置づけ、バリアフリー化を重点的・一体的に推進するためのバリアフリー基本構想を策定するものでございます。策定業務委託料と協議会開催経費といたしまして、1,647万3,000円を計上させていただくものでございます。特定財源といたしまして、国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用するものでございます。

続きまして、9ページを御覧ください。予算書255ページ、事業別概要195ページ下段でございます。県営街路事業負担金について御説明いたします。事業内容につきまして、先ほどの補正予算の説明と同様のものがございます。本事業は、立川甕山線（坊垣工区）、同路線（岩倉工区）、大工町土居叶線（宮長工区）、美萩野覚寺線（鳥大前工区）の3路線4工区における道路改良工事を実施するものがございます。予算額といたしまして、3,958万5,000円を計上させていただくものです。特定財源といたしまして、公共事業等債を活用するものがございます。

ページ戻っていただきます。資料2の4ページ下段でございます。都市企画課合計、本年度予算額3億8,829万1,000円を計上させていただくものがございます。都市企画課分については以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。それでは、令和5年度交通政策課分の当初予算について説明をさせていただきます。資料は10ページを御覧ください。下から2つ目になります。款総務費、項総務管理費、目企画費、細目は4の空港利用促進費、細々目4鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金でございます。予算書は165ページ、事業別概要は197ページの上段でございます。鳥取空港の利用促進と利便性の向上等を目的とした活動を行います、鳥取空港の利用を促進する懇話会への負担金でございます。首都圏でのPRイベントの開催ですとか、雑誌等への広告掲載、エージェントへの旅行商品の造成支援のほか、鳥取空港のにぎわい創出事業、国際チャーター便の誘致活動等、鳥取空港の利用促進を図る経費を計上させていただいております。予算額は1,251万円でございます。

資料11ページを御覧ください。上から4つ目になります。目交通対策費、細目は6の地方バス路線維持対策費、細々目1地方バス路線維持対策補助金でございます。予算書は169ページになります。バス路線を維持するため、路線バス運行費の赤字部分に対するバス事業者への補助金でございます。令和4年度実績見込額を踏まえまして、コロナ禍での利用回復による収益増加を想定をして計上をしております。予算額は2億6,048万6,000円でございます。

その下、4高齢者等公共交通利用支援事業費でございます。予算書は169ページになります。免許返納者と高齢者を対象といたしまして、路線バス定期券を半額で購入できるよう助成するものがございます。過去の実績を踏まえまして、令和4年度実績並みの2,000件の申請件数を見込んで計上をしております。予算額は1,797万3,000円でございます。その他財源は、ふるさと納税基金繰入金でございます。

その次です。細目7生活交通確保対策事業費でございます。このうち、1のバス代替タクシー運賃補助金、それから、2つ下になります、17番の市町村有償運送事業費、さらにその下、21の地域主体型生活交通確保支援事業費につきましては、いずれも路線バスの減便等に伴います代替交通、乗合タクシー、市有償バス、共助交通、こちらの運行費の補助金でございます。この3事業につきましては、後ほど説明をさせていただきます。

次に、一番下になります、24生活交通確保対策推進事業費でございます。予算書は169ページになります。新しい交通サービスといたしまして、気高町・鹿野町地域におきまして、A I

配車システムを活用いたしました定額制乗合タクシーの実証運行に取り組むタクシー事業者に対する補助金でございます。この実証運行ですけれども、昨年10月から実施をしております。本年3月末までの予定としておりましたが、地域の要望を踏まえまして、運行エリアの拡大ですとか、家族料金の設定などの改善を加えまして、本年9月までの実証をすることといたしております。予算額は555万円になります。

資料12ページを御覧ください。上から2つ目になります。細目8番100円循環バス運行事業費、細々目は2番の100円循環バス運行費負担金でございます。予算書は169ページになります。くる梨の運行事業者に対する運行費負担金でございます。コロナ禍での利用回復ですとか、I C O C A導入効果によります収益増加を想定しながらも、車両の老朽化によります修繕費の増加を見込みまして、令和4年度実績並みで計上をいたしております。予算額は8,447万8,000円でございます。

その2つ下になります。細目10公共交通利用促進事業費、細々目19学生等公共交通利用促進支援事業費でございます。予算書は169ページになります。県内高等学校等へ通います学生の通学費に対する助成金でございます。過去の実績を踏まえまして、令和5年度の申請件数を250件程度と見込みまして計上をいたしております。予算額は500万円でございます。

続きまして、款土木費、項港湾費、目港湾総務費、細目は4鳥取港振興対策費でございます。細々目3番、鳥取港振興会対策費でございます。予算書は253ページ、事業別概要は199ページの上段になります。鳥取港の施設整備及び利用促進を図るために、市・県・商工会議所・民間団体で構成をいたします鳥取港振興会の活動費補助金になります。クルーズ客船の寄港歓迎イベント、それから船主会社への寄港費の助成金、それから外国貿易の促進補助金、クルーズ客船誘致活動費等々、鳥取港の利用促進を図る経費を計上させていただいております。予算額は715万4,000円でございます。

それでは、13ページを御覧いただきたいと思っております。前に触れました生活交通確保対策事業費の3事業につきまして説明をさせていただきます。細々目1のバス代替タクシー運賃補助金でございます。予算書は169ページ、事業別概要は197ページの下段になります。乗合タクシーは、乗合事業の許可を受けましたタクシー事業者が運行するものでございまして、利用者は、区域内の路線バス運賃相当額で乗車していただくものでございます。運行経費と運賃収入との差額を、タクシー事業者に補助金として支出するものでございます。現在、吉岡洞谷線、西郷線、雨滝上地線、米里線、この4路線で運行しているところでございますが、本年4月からの路線バス神戸線の減便に伴います、神戸線を新たに加えました5路線で計上をさせていただいております。予算額は3,357万9,000円でございます。

続きまして、14ページになります。細々目17市町村有償運送事業費でございます。予算書は169ページ、事業別概要は198ページの上段になります。市有償バスは、市が自ら運行主体となりまして、有償でバスを運行するものでございまして、運賃、使用料につきましては、鳥取市自家用有償バス条例に基づきまして周知をいたしまして、運行経費の財源として充当するものでございます。昨年度末をもちまして、南部支線バスを廃止いたしまして、現在、気高循環バスと絹見バス、こちらの2路線で運行しております。令和5年度につきましても、2路

線で計上をさせていただいております。予算額は2,780万8,000円になります。

続きまして、15ページになります。細々目21地域主体型生活交通確保支援事業費でございます。予算書は169ページ、事業別概要は198ページ下段になります。こちらは、国土交通大臣の認可を受けましたNPO法人やまちづくり協議会等々が運行主体となりまして、自家用車を使用して有償で運行する自家用有償旅客運送、いわゆる共助交通に係る経費になります。現在、市内7地域におきまして運行されておりまして、運行主体に対する運行費補助金と、それから、各運行主体が地域の状況や課題を共有して、課題解決に向けた対策等を検討・実施する会議の開催経費を計上させていただいております。昨年度に比べまして増額となっておりますのは、本年4月から、路線バス佐治線が減便を行うことに伴いまして、その代替交通として、NPO法人さじ未来が運行いたします、さじ未来号が増便をして対応することによるものでございます。予算額は3,883万9,000円でございます。

以上、交通政策課が所管をいたします30事業の令和5年度当初予算総額につきましては、12ページの下に記載のとおり、5億5,763万6,000円でございます。前年度4,297万円、率にして8.3%上回る予算とした上で、県補助金や過疎対策事業債等の特定財源を積極的に活用したことによります一般財源の割合は、前年度比0.9%減少させておりまして、有利な財源を確保しながら、地域交通の確保、それから利用促進、利便性の向上を図った予算とさせていただいております。交通政策課は以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 有本課長。

○有本公博中心市街地整備課長 中心市街地整備課、有本でございます。引き続き、中心市街地整備課の予算について御説明を申し上げます。16ページをお開きいただきたいと思います。まず、一番上の総務費、総務管理費、企画費、都心居住推進事業費でございます。予算書は167ページ、事業別概要は199ページ下段、予算額は1,016万4,000円です。これは、右側、街なか居住推進事業費ということでございますが、これは後ほど説明をさせていただきます。

次に中段、商工費、商工業振興費、中心市街地活性化推進事業費でございます。予算書は239ページ、事業別概要は200ページの下段から202ページの上段になります。予算額は、全体で4,721万5,000円です。

まず、その中の一番上、中心市街地活性化協議会運営助成事業費1,417万6,000円です。これは、中心市街地活性化協議会のプロジェクトマネージャーを含みます事務局の人件費及び事務費を計上をしておるものでございます。

2つ飛ばしまして、市民交流ホール運営費補助金1,139万8,000円です。これは、本通りにありますパレットと通りの2階、市民交流ホールの運営に対しまして、人件費、事務費、イベント開催費などの利用促進費につきまして、運営をしております鳥取商工会議所へ補助をするものでございます。

その下、額は少ないですが、新規事業ということでございまして、鳥取市ウォークブル公共空間活用推進補助金です。事業別概要は201ページの下段です。これは、コロナ交付金を活用するものでございまして、300万円を計上をしております。これは、先ほど御報告させていただきました昨年の駅南実証事業の成果を踏まえまして、中心市街地内の歩道でありますとか、

あるいは公園等々の公共空間を活用されて、7日以上イベントを実施する団体等に、100万円を上限に支援をするというものでございます。

その下の、まち歩き推進事業費の1,301万3,000円につきましても、後ほど説明をさせていただきます。

次に、17ページでございます。土木費、都市計画費、都市計画総務費、鳥取駅周辺にぎわい創出事業費で、予算書は253ページ、予算額は、全体で2,334万1,000円です。

その中、端の一番上、鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費701万7,000円で、事業別概要は202ページの下段でございます。これは、中心市街地の中でも、特にバード・ハットを活用するイベントに対しまして、管理運営を駅前商店街振興組合に委託をいたしますとともに、イベント補助を行うものでございまして、音楽イベントでありますとか、定期的に開かれるマーケットでありますとか、集客効果が高いイベントの開催を今後も支援してまいるのでございます。また、本年は、バード・ハットが完成をいたしまして10周年ということでございまして、記念イベントを開催するために、昨年度より、イベント1回分、50万円を増額計上させていただきます。よろしくお願いいたします。

1つ飛ばしまして、鳥取駅周辺にぎわい創出事業費のコロな交付金活用事業です。1,000万円ということでございまして、事業別概要は203ページの下段でございます。これは、コロな交付金を活用いたしまして、先ほど申し上げたバード・ハットの完成10周年を記念をいたしまして、既存のLED照明の設備をリニューアルをいたします。併せて、光の演出設備を追加をするということで、夜のさらなるにぎわいを創出をしまして、駅周辺の回遊性と滞在性を向上させようというものでございます。

一番下の、鳥取駅周辺憩いのあるにぎわい空間創出事業費500円につきましても、この後、説明をさせていただきます。

それでは、18ページをお開きください。街なか居住推進事業費でございます。予算額は1,016万4,000円、事業別概要は199ページの下段です。これは、県の宅建協会東部支部に専門相談員1名を配置しております、住もう鳥取ネットの運営費、また、末広温泉町に設置しております、まちなか居住体験施設K a r i 集 m a i の運営費、これは、鳥取開発公社に委託をしております。空き家情報バンクの運営等々に、引き続き取り組んでまいります。

また、空き家の利活用をしようと考えています団体等々が、空き家の調査、あるいは掘り起こし、ワークショップや勉強会などを行う場合に、1団体当たり60万円を支援いたします、空き家の担い手育成事業に引き続き取り組みますし、活動を支援した団体が、実際に空き家をオーナーから借り受けたり、管理委託を受けた場合に、清掃費や簡単な補修を行う場合、これは1団体当たり20万円、サブリースのために改修を行う場合は、150万円を支援いたします、空き家利活用団体支援事業にも、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

次に、19ページを御覧ください。まち歩き推進事業費、予算額は1,301万3,000円、事業別概要は202ページの上段です。これは、概要説明のときに部長のほうから詳しく説明をさせていただいておりますが、ウォークアブルなまちづくりを進めていくために、まちなかの歴史、あるいは文化、グルメ等々の文化観光スポットを中心にいたしまして、ARによる携帯端末用の

コンテンツを作成をいたしまして、市民や観光客の方々に、楽しみながら、まちなかを歩いていただくという取組でございます。楽しんで歩いていただくというためには、単に画像、あるいは動画を表示させるということではなくて、やはりストーリー性とか、あるいはゲーム性等々を組み合わせたことで、そういったことが非常に重要であるというふうに考えておりました。関係部署、あるいは団体、若者等々の様々な方の御協力、御意見をいただきながら、事業に取り組んでいきたいというふうに考えております。

最後に、20ページを御覧ください。鳥取駅周辺憩いのあるにぎわい空間創出事業費、予算額は500万円、事業別概要は204ページの上段となります。鳥取駅周辺のにぎわいづくりを進めていく中におきましては、最大の地権者でありますJR西日本の協力が不可欠でございます。このたび、JR側から要請によりまして、本事業を実施しようとするものでございまして、左の下に写真をつけておりますが、これは、姫路の駅の駅前広場に、テーブルと椅子を設置した様子が写っております。この駅舎、少し字は小さいですが、スターバックスが近くに入っております。この実施期間中、多くの若者でにぎわったということ、JRから報告を受けております。こうした状況を鳥取駅の北口にもつくろうということで、今までは十分に活用できなかった駅舎側のJR用地、ここにテーブル・椅子を設置いたしますとともに、近接しておりますシャミネの店舗、特にテークアウトを行っている店舗等々と協力をしたり、あるいは、前回の議会でも報告がありました指定管理者が替わった風紋広場、あるいは、駅前商店街等々とも連携をしながら、人でにぎわう仕掛けづくりを行おうとするものでございます。実施時期は、今のところ秋頃を予定しております。昨年の駅南は2週間でありましたが、今回は二、三か月程度の期間で取り組もうと考えているところでございます。

以上、中心市街地整備課予算額は、1億2,399万2,000円となります。以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 徳田課長。

○徳田 剛都市環境課長 都市環境課でございます。資料の2の21ページを御覧ください。1番、水道事業会計への繰り出しでございます。予算書は223ページ、予算額969万7,000円です。これは、殿ダムの建設事業に伴う上水道事業償還額を水道局へ繰り出すものでございます。

次に、中段辺りの14番、殿ダム対策費でございます。予算書は243ページ、予算額2,074万9,000円でございます。これは、ダム周辺地域の発展を図るため、周辺集落等が行うまちづくり事業等に対する補助、また、指定管理費による殿ダムの周辺広場の維持管理や、記念広場等の施設修繕に要する経費でございます。財源として、殿ダム水源地域対策事業基金を充当しています。

次に、下段のほう、河川総務費になります。2番の樋門管理費でございます。予算書は251ページ、予算額4,648万1,000円でございます。これは、大雨による河川水位の上昇に伴う家屋等の浸水被害を防ぐため、樋門・排水機場の管理を行うものでございます。国の管理委託が50か所、県管理が108か所、市管理が7か所、計165か所でございます。財源としまして、国・県からの管理受託費として4,574万3,000円を充当しております。

その下、4番、河川維持管理費でございます。予算書251ページ、事業別概要204ページの下段でございます。予算額7,988万3,000円。河川のしゅんせつ・除草等により、排水機能を

維持し、市民生活の安全確保を図るものでございます。詳細は後ほど説明いたします。

次に、7番の普通河川改良事業費でございます。予算書251ページ、事業別概要205ページの上段、予算額4,070万円でございます。河川災害を未然に防止するため、河川等の改修を行い、浸水被害の軽減及び環境の改善を図るものです。本年は、内海川、下味野清水川の改良工事を行うものでございます。財源としましては起債を充当しております。

次に、22ページを御覧ください。上段11番の治水対策事業費でございます。予算書251ページ、事業別概要は205ページ下段でございます。予算額1億7,817万4,000円。これは、台風や豪雨等の発生時に宅地への浸水被害を防ぐため、緊急対応や浸水対策を行うものでございます。これも、後ほど詳細は説明させていただきます。

次に、22番、急傾斜地崩壊対策事業費でございます。予算書251ページ、予算額は1,000万円でございます。鳥取県が整備を行っている浜村地区の急傾斜地崩壊対策事業の計画斜面に、一部鳥取市の所有の土地があり、その箇所を、本市が事業主体となって整備を行っているものです。令和5年度は、令和4年度に本市が工事を完了した影響範囲について、引き続き、隣接する鳥取県が着手する工事箇所において工事を行うことにより、工損事後調査を行い、本市と鳥取県との責任を明確にしておく必要があるため、業務委託費700万を計上し、工事影響による見込みとして、工損補償額300万円、合計1,000万円を計上しているものでございます。

次に、中段の36番、緑化推進事業費でございます。予算書は253ページ、事業別概要は206ページ上段です。予算額は378万3,000円。これは、緑化の知識の普及や緑化意識の高揚に資するため、緑化知識の定着及び技術の向上を図るものです。ボランティアの育成支援、それから、公園愛護会等の交流支援、またナチュラルガーデンの技術指導や花壇の設置を行うものでございます。特定財源として、県の補助金5万円を予定しております。

次に、下段、一番下のほうになりますが、4公園整備費でございます。公園整備事業費、予算書は255ページ、事業別概要は206ページ下段でございます。予算額1,351万8,000円でございます。これは、市民が安心して利用できる公園を維持するため、鳥取市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の更新を行うものです。これは、市民が安心して利用できる公園を維持するため、鳥取市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の更新を行うものでございます。美萩野西山公園、それから、鹿野町温泉公園のパーゴラを各1基ずつ、更新をするものでございます。予算額は1,351万8,000円、財源としましては、起債を1,080万充当しております。

次に、右端の1の公園整備事業費の下10、こちらの公園整備事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）でございます。予算書255ページ、事業別概要は207ページ上段でございます。予算額500万円でございます。これは、第4期中心市街地活性化事業計画の軸として、鳥取駅を中心とした3公園施設の都市公園をリノベーションを推進するため、まちなかウォークブル区域における拠点公園として、リニューアルを検討するものでございます。詳細については、後ほど御説明いたします。

次に、23ページを御覧ください。公園管理費でございます。予算書は255ページ、予算額は2億6,274万5,000円でございます。これは、都市公園等の維持管理業務を適正に行い、安

全・安心な憩いの場を提供するものでございます。148か所の公園等の指定管理料、袋川緑地桜管理計画策定業務並びに同委員会の設立、美保球場の施設現況調査、また公共空地の除草等の費用、光熱水費等を支出するものです。さらに、予算の抑制により、抑えられていましたが、修繕費として有利財源である過疎対策事業を活用し、用瀬町運動公園テニスコートの人工芝1面分と、それから照明灯の修繕、それから、河原町ふれあい公園の舗装修繕を実施する予定としております。財源として、使用料340万円、自動販売機収入18万円、過疎対策事業費2,050万円を見込んでおります。なお、袋川緑地管理計画の詳細については、後ほど御説明させていただきます。

次に、その下の公園芝生化推進事業費でございます。予算書は255ページ、事業別概要は207ページ下段でございます。予算額は1,861万8,000円です。市民が芝生化事業に参加することによって、協働意識の高揚を図るとともに、芝刈り機等の維持管理費の縮減、安全・快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高めるものでございます。令和5年度は、草刈り機2台と、これまで芝生化を行った公園の芝の養生費用を支出するものでございます。令和4年度末現在で、公共空地を含めて70公園、延べ85か所で芝生化を行っているところでございます。

一番下になります。土地区画整理費特別会計、次に、他会計へ繰り出しでございますが、予算書323ページでございます。予算額3,767万5,000円でございます。内容については、後ほどこれは、特別会計のところで御説明をさせていただきます。

資料24ページを御覧ください。河川維持管理費の御説明をさせていただきます。河川維持管理費、台風や豪雨等に伴う宅地浸水の被害を未然に防止し、市民生活の安全確保を図るため、河川の排水機能の維持に努める必要がございます。令和2年度に新設された河川等のしゅんせつ経費に充当可能な地方債を財源としまして、しゅんせつ等による浸水被害の軽減を図るとともに、河川施設に係る予防保全等の対策を行うものでございます。令和3年度と令和4年度については、予算の抑制により、抑えられておりましたけども、令和5年度は、福井川など45か所でしゅんせつを実施する予定としております。予算額は7,988万3,000円、緊急浚渫推進事業債6,620万円を充当するものでございます。

次に、資料25を御覧ください。治水対策事業費でございます。台風や豪雨等の発生時に、宅地等への浸水被害を防ぐため、既設ポンプ場の点検・修理や維持管理を行うものでございます。また、浸水被害の発生した河川に浸水対策工事を行うとともに、昨年度まで作成しました浸水想定区域図を基に、効果的な浸水対策を図るものでございます。測量設計業務としまして、谷田川、鹿野町裏川、これは、鹿野城のお堀の排水路、いわゆる普通河川、こちらの測量の設計や青谷内水対策の詳細設計を、浸水対策工事としては、国府町糸谷川、福井地内の水路、鷹狩地内水路、小沢見川ポンプ場、前田川治水対策工事などを予定しているものでございます。予算額は1億7,817万4,000円、財源といたしましては、県道河川管理料等の管理費107万6,000円、緊急自然災害防止対策事業債1億5,780万円を充当するものでございます。

次に26ページを御覧ください。都市公園整備事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）でございます。この事業は、中心市街地整備課で先ほど説明がございましたが、まち歩き推進事業と鳥取駅周辺憩いのあるにぎわい空間創出事業の事業と連携して行うこととしております。

これは、現在策定中の第4期中心市街地活性化基本計画において、中心市街地域内のゾーン設定が見直され、鳥取駅周辺をまちのエントランスゾーンと位置づけられる予定であることから、まちなかウォークアブル区域でもある鳥取駅南北の回遊性を向上させるため、居心地がよく、歩きたくなるまちなかの創出のため、休養施設となる都市公園等、鉄道記念物公園、高架記念公園、これは、高架記念公園は郵便局本局の前にあります石破二郎氏の銅像があるこの公園でございます、それと風紋広場を憩いの空間としてリニューアルをし、滞在の快適性を図るための検討を行うこととしております。都市公園リノベーション検討調査業務といたしまして、500万円を計上するものでございます。この業務は、特定財源としまして、コロナ交付金を充当しているものでございます。

次に、27ページを御覧ください。都市公園等管理費でございます。袋川緑地桜管理計画策定業務でございます。これは、袋川緑地、湯所橋から若桜橋区間の約1.7キロと、若桜橋から弥生橋までの約250メートルの間、計約2キロでございます。こちらの桜の樹齢が70年ほど経過しており、老木化、樹木間の狭さによる生育の低下、また、桜の根が地表面近くに伸長し、園路等の隆起などの問題が生じている状況でございます。本市の代表する桜の名所でもある袋川緑地の桜を次世代につなぐため、地域の方々や専門家の意見を伺う協議会を設立し、2か年かけて管理計画を策定し、桜の保全や更新の取組を行うものでございます。なお、この管理計画では、計画策定後、直ちに大がかりな桜の伐採や植え替えなどを行うものではなく、長期の時間をかけて保全と、それから桜の植え替え、そういったものを前提として検討していくものでございます。予算額は、委員報酬に16万5,000円、管理計画策定業務に300万円、合計316万5,000円を予定しております。

ページ、戻っていただきまして、資料2の23ページでございます。都市環境課本年度予算額8億5,554万3,000円を計上しております。都市環境課、以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 田村課長。

○田村 温道路課長 道路課、田村です。資料2の28ページを御覧ください。道路台帳整備費、予算書は247ページとなります。予算額921万6,000円を計上させていただいております。これは、新たに市道となった道路の台帳整備となります。

続きまして、細目道路管理費、予算書は同じです。事業別概要書208ページ上段となります。予算額3億1,909万6,000円を計上しております。道路パトロール、道路施設等の破損箇所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定、鳥取駅南北の広場、鳥大駅前広場などの管理、道路照明等の修繕、原材料支給などを実施することにより、市道を管理する費用でございます。その他財源の内訳として、使用料6,075万9,000円、この内訳は、道路占用料3,279万6,000円、鳥取駅南口等駐車場料金2,796万3,000円、証明手数料8万2,000円、雑収入として197万7,000円、これは、県より美術館の鑑定料の費用97万7,000円と、自動車損害賠償保険の100万です。

続きまして、細目一般道補修費、事業別概要書は208ページ下段となります。予算額2億2,343万9,000円を計上させていただいております。側溝改良、歩道改良、のり面補修など、地区要望に基づき、必要な道路修繕工事等、舗装の打ち替え、LED照明の交換、カーブミラ

一の補修など、道路構造物及び道路附属物の延命化を実施する費用でございます。特定財源の内訳は、地方債7,480万円、これは、公共施設等適正管理推進事業債と過疎債でございます。また、その他財源は、道路工事に伴う下水道マンホール蓋調整に係る負担金165万円です。

続きまして、車両経費、予算額1,086万円を計上しております。これは、道路管理センターに配備する車両の修繕費、燃料費、リース料などの経費でございます。

続きまして、除雪費、事業別概要書209ページの上段、予算額1,311万円を計上しております。これは、9月までの消雪施設、鳥取・用瀬・佐治・青谷の電気代及び除雪車両の車検代、小型除雪機の点検代、除雪機械運転者育成支援代となります。

続きまして、地方道路整備交付金事業費、社会資本整備総合交付金事業費になります。事業別概要書209ページ下段となります。予算額1億438万6,000円を計上しております。特定財源の内訳は国・県支出金、これは、社会資本整備総合交付金でございます、5,150万円。地方債は4,870万円で、公共事業等債、過疎債となります。

続きまして、事業別概要書210ページ上段、予算額5億9,746万5,000円を計上しております。特定財源の内訳は、社会資本整備総合交付金及び国庫補助金が3億21万5,000円、地方債は2億4,200万円で、公共事業等債と過疎債となります。

続きまして、事業別概要書210ページ下段となります。予算額2,106万1,000円を計上しております。カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等の交通安全施設の設置や修繕を行うものでございます。

それでは詳しい説明を、社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金について説明させていただきます。資料2の29ページを御覧ください。国の交付金を活用して、8か所の道路整備を実施する予定としております。主な事業としては、津野線などの道路改良、長柄3号線、村中橋の架け替えなどに伴う測量設計等の業務等を予定しております。

続きまして、30ページを御覧ください。通学路の整備として、丸山浜坂1号線などの6か所において、歩道整備などの歩行者安全対策を実施します。

続きまして、31ページを御覧ください。道路の危険個所において、のり面修繕や電線類地中化等の防災対策及び道路拡幅等を実施するとともに、橋梁・トンネル施設の長寿命化に伴う定期点検並びに修繕工事を行うほか、小型除雪機の購入をするものでございます。

28ページにお戻りください。道路課歳出合計15億8,605万8,000円です。以上です。

◆勝田鮮二分科会長 太田次長。

○太田忠孝次長兼建築指導課長 建築指導課、太田でございます。よろしく申し上げます。引き続き、資料2の32ページを御覧ください。予算書は245ページです。まず、土木費、土木管理費、建築指導費、2の福祉のまちづくり推進事業費でございます。事業別概要は211ページ上段でございます。予算額550万円を計上しております。あちこち行って申し訳ありませんが、資料2の34ページを御覧ください。この事業は、バリアフリー法や、県の福祉のまちづくり条例の基準に基づいて整備を行う民間の特定建築物の建築主に対して、整備に要する費用の一部を交付するものでございます。予算は、過去の実績を基に、車椅子使用者用トイレの整備やオストメイトの設置など、4件を見込んでおります。財源は、国・県の交付金と補助金、一般

財源でございます。

続きまして、32 ページにお戻りください。14 の石綿改修支援事業費でございます。事業別概要は211 ページの下段でございます。予算額1,050万1,000円を計上しております。資料2、35 ページを御覧ください。この事業は、吹きつけアスベストを使用している建物に対する支援事業でございます。アスベスト含有の調査は100%の補助、除去・封じ込め・囲い込み工事を行うものについては、3分の2の補助を行うものでございます。予算は、調査を10件、除去等の工事については、事前相談のあったものなど2件を見込んでおります。財源は国・県の交付金と補助金、一般財源でございます。

次に、32 ページを御覧ください。17 住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費でございます。事業別概要は212 ページ上段でございます。予算額は4,088万8,000円を計上しております。資料2、36 ページを御覧ください。この事業は、住宅等の耐震診断・設計・改修及び危険なブロック塀の撤去・改修を行う方に対して助成を行っていくものでございます。また、法改正に伴いまして、耐風対策として、現行基準に合わない屋根瓦を改修する建物についても、新規事業として計上しております。耐震の入り口となる住宅の無料診断については、令和4年同様の60件ですが、設計と改修を10件から15件に増やしております。危険なブロック塀の撤去・改修等については、基礎の撤去を併せて行う場合、費用の3分の2、上限30万円の補助額が上乗せ拡充することとしています。屋根瓦の耐風対策改修については、費用の23%、上限55万2,000円の補助を5件見込んでおります。財源は国・県交付金と補助金、一般財源でございます。

次に、資料2、32 ページを御覧ください。21 の空家対策事業費でございます。事業別概要は212 ページ下段でございます。予算額は2,908万7,000円を計上しております。資料2、37 ページを御覧ください。この事業は、平成31年3月に策定した空家等対策計画の中で、危険空き家対策を重要な施策の1つと位置づけ、特定空家等の所有者に対して必要な指導や助言を行い、主に特定空家等の解体補助を行っております。現計画の計画期間が令和5年度で終了することから、平成30年度に行った本市全域の空き家実態調査を再度行うことで、現状の変化を把握し、次期空家等対策計画に反映することとしています。また、除去補助につきましては、現行の補助率2分の1、上限60万円の補助額に、残置物の処分費に係る費用の2分の1、上限20万円を上乗せ拡充することとし、それに併せて、補助対象件数も10件から15件に増やしております。また、相続人の調査において、かなりの時間を要するものについては、調査を効率よく行うため、鳥取県公共嘱託登記司法書士協会への委託を予定しております。

建築指導課の本年度予算額は、33 ページにお戻りください。1億9,755万7,000円でございます。以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 森田課長。

○森田 健建築住宅課長 建築住宅課、森田です。引き続き、建築住宅課の令和5年度予算について説明いたします。資料1の38 ページを御覧ください。款総務費、項総務管理費、目財産管理費の2財産管理費、細々目6の定期借地権付土地分譲事業費です。予算書は163 ページ、事業別概要書は213 ページ上段です。予算額は3,526万5,000円を計上しています。財源は、

その他財源として財産収入、これは土地貸付料となります。あと一般財源です。これは、鳥取市土地開発公社が所有し販売を行っている、青谷町望町団地、鹿野町湯川団地について、土地の分譲促進を図るため、販売のほかに、平成24年度から定期借地権付土地制度による分譲も行っています。定期借地権付土地分譲とは、開発公社から鳥取市が土地を購入し、51年間の期間を定めて、借受人に賃貸する制度です。令和5年度は、その購入予定団地3区画分、湯川団地2区画、望町団地1区画の土地購入費用及び広告費用などを計上しています。広告費用などは、チラシ・新聞広告・テレビコマーシャルなどの広報費用や、鳥取市土地開発公社に対して、分譲促進に係る経費の補助を行う費用でございます。費用の内訳は、土地購入費2,516万7,000円、チラシ・新聞広告など広報負担金88万4,000円、コマーシャルなど広告料99万円、分譲促進事務費補助金822万4,000円です。

続いて、資料2の同じく38ページ、款土木費、項住宅費、目住宅管理費の、2住宅維持補修費、細々目1の住宅維持補修費です。予算書は257ページです。予算額は5,047万3,000円を計上しています。財源は全てその他財源で、家賃・修繕費の入居者負担金です。これは、緊急的な修繕、入居に伴う修繕、建物の安全を維持するための法定点検費用、簡易水道や消防設備や基準法の点検になります。その他、火災保険などがございます。前年度と比較して、民間に委託している施設管理業務委託へ移行した修繕費が減少しているものです。

続いて、同じく住宅管理費の住宅維持補修費、細々目2の施設管理業務委託事業費です。予算書は同じく257ページです。予算額は6,257万3,000円を計上しています。財源は全てその他財源で、家賃収入です。これは、市営住宅の施設管理業務を民間会社に委託することで、民間の持つノウハウを活用し、適切な管理による住民サービスの向上を目指しているものでございます。費用の内訳は、管理委託費552万8,000円、修繕費4,728万円、保守点検費ほか976万5,000円です。現在は、賀露・湖山・徳吉・旭町・大森・湯所・材木・田島団地の8団地、計1,415戸、これは、市内の市営住宅で言いますと、約88%を民間委託で管理しております。

続いて、同じく住宅管理費の3県営住宅管理費、細々目1の県営住宅管理費です。予算書は同じく257ページです。予算額は1,010万5,000円を計上しています。財源は、全て県からの支出金です。これは、管理代行をしている県営住宅、9団地211戸の管理費でございます。管理戸数ですが、前年度に対して6戸減少しております。

続いて、資料2の39ページを御覧ください。同じく住宅管理費の6住宅管理事務費、細々目3のその他住宅管理事務費です。予算書は257ページです。予算額は1,902万5,000円を計上しています。財源は全てその他財源で、家賃収入です。これは、入居者募集・選考に係る事務費、家賃、駐車場使用料の賦課徴収、未納家賃などの納付指導に係る事務費、住宅管理人・水道管理人・駐車場管理人への報償費などがございます。

続いて、同じく住宅管理費の住宅管理事務費、細々目8の若者向け賃貸住宅公社負担金です。予算書は同じく257ページです。予算額は855万2,000円を計上しています。財源は全てその他財源で、家賃収入です。これは、旧青谷町が、若者の定住促進を目的として、旧青谷町内の賃貸住宅不足を解消するため、鳥取県住宅供給公社に依頼して、平成14年度に建設したもので、住宅供給公社へ、年855万1,461円の償還金を支払うものでございます。50年間の契約終

了後、市に譲渡されることになっています。ちなみに、50年後は令和35年になります。

続いて、同じく住宅管理費の住宅管理事務費、細々目9の市営住宅水道料金各戸計量・徴収事業費です。予算書は同じく257ページです。予算額は659万9,000円を計上しています。財源は全てその他財源で、家賃収入です。これは、民間事業者により、水道料金の徴収を行うもので、従来、共同住宅型の建物では、水道管理人が各住戸の水道子メーターを検針し、水道局から請求された水道料金を、各住戸の使用水量に応じて徴収していましたが、近年は住民の高齢化が進み、この徴収が管理人の大きな負担となっているため、令和2年度から、民間事業者へ順次徴収業務の移行を進め、令和4年度に移行は完了、現在は民間事業者による徴収業務を行っているところでございます。

続いて、同じく住宅管理費の14住宅セーフティネット事業費です。予算書は257ページ、事業別概要書は213ページ下段です。予算額は1,035万2,000円を計上しています。財源は、社会資本整備総合交付金、県補助金、一般財源です。財源の内訳は、社会資本整備総合交付金100万円、県補助金676万4,000円、一般財源258万8,000円です。これは、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律、略して、住宅セーフティネット法とよく言います、に基づき、高齢者・低額所得者などの住宅確保要配慮者に対し、民間の空き家・空き室を活用した住宅供給を促進するため、登録住宅の改修や住宅確保要配慮者の入居に対する経済的支援に当たる登録住宅の改修補助金、家賃低廉化補助金、家賃債務保証料低廉化補助金の事業費でございませう。

続いて、資料2の39と、詳細は40ページを御覧ください。款土木費、項住宅費、目公営住宅建設費の15ストック総合改善事業費、細々目9の西浜団地ストック総合改善事業工費です。予算書は259ページ、事業別概要書は214ページ上段です。予算額は1億5,136万8,000円を計上しています。財源は、社会資本整備総合交付金、起債、一般財源です。財源の内訳は、社会資本整備総合交付金7,497万4,000円、起債7,630万円、一般財源9万4,000円です。これは、気高町西浜団地の老朽化に伴うストック改善を行い、高齢者などの安全や利便性に配慮した住宅にリフォームすることにより、住環境の改善を図るものでございませう。令和4年度から5年度にかけて、3棟のうち最後の棟である56年棟の改修工事を実施しており、令和5年度は、令和4年度に支出した工事費、これは建築工事の前払い金になります、の残りの工事費を計上するものでございませう。

続いて、資料2の39と、詳細は41ページを御覧ください。同じく公営住宅建設費の16公営住宅等長寿命化対策費、細々目の1市営住宅長寿命化対策費です。予算書は259ページ、事業別概要書は214ページ下段です。予算額は8,829万円を計上しています。財源は、社会資本整備総合交付金、起債、一般財源です。財源の内訳は、社会資本整備総合交付金4,414万5,000円、起債4,410万円、一般財源4万5,000円です。これは、大森団地のRG棟の老朽化に伴うストック改善を行い、高齢者などの安全や利便性に配慮した住宅にリフォームすることによる住環境の改善と併せて、外壁・屋上防水などを改修し、施設の長寿命化を図るものでございませう。全体工事費は2億2,072万5,000円を見込んでおり、令和5年度は、前払い金の4割に相当する8,829万円、令和6年度は、残りの6割に相当する1億3,243万5,000円を見込

んでいます。令和5年度は、RG2棟の改修工事を債務負担行為により、令和6年度までの2年間で実施します。

最後になります。資料2の39ページを御覧ください。同じく公営住宅建設費の19市営住宅屋根改修事業費です。予算書は259ページです。予算額は6,355万4,000円を計上しています。財源は、起債と一般財源です。財源の内訳は、起債6,350万円、一般財源5万4,000円です。これは、屋根材の劣化が著しく、落下などの危険性が高い5団地18棟の屋根改修を、令和元年度から年次的に実施しているもので、令和5年度は、賀露7棟と材木2棟の改修工事をするものでございます。工事費の内訳は、賀露7棟が3,112万2,300円、材木2棟が3,243万2,300円を予定しています。

以上、39ページになります。建築住宅課、令和5年度当初予算額5億7,250万7,000円をお願いするものでございます。

引き続き、債務負担行為について説明いたします。資料2の38ページと42・43ページを御覧ください。予算書は15ページ、事業別概要は268・269ページです。鳥取市土地開発公社借入金の損失補償です。これは、鳥取市土地開発公社が、鹿野町の湯川住宅団地及び青谷町の望町団地の用地を取得するために、金融機関などから借り入れた資金、並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計金額を限度とする債務補償をするものです。青谷町の望町団地については、平成14年度から分譲を行っている望町団地の用地を、鳥取市土地開発公社が令和4年度に取得したことに伴い、損失に対する補償を新たにお願いするものでございます。

続いて、資料2の39ページと44ページを御覧ください。予算書は15ページ、事業別概要は270ページです。大森団地RG2棟改修工事費の債務負担1億3,243万5,000円をお願いするものです。これは、令和5年度当初予算で説明いたしました、公営住宅等長寿命化対策費の細々目1市営住宅長寿命化対策費に計上されている大森団地RG2棟改修工事を、令和5年度から6年度にかけて実施するため、令和6年度の債務負担をお願いするものでございます。工期は12か月を想定しております。

以上、建築住宅課の説明を終わります。

◆勝田鮮二分科会長 徳田課長。

○徳田 剛都市環境課長 すみません。大変申し訳ございません。資料の訂正をお願いいたします。資料2の27ページをお願いできますでしょうか。そちらの右側に、計画策定スケジュール（案）というものを記載しておるんですが、こちらが、令和5年度・令和6年度とありまして、その下に令和7年度とございますが、令和7年度は誤りでございますので、削除をお願いしたいと思います。大変申し訳ございませんでした。

◆勝田鮮二分科会長 説明いただきました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二分科会長 なしということで、それでは、次に、議案第2号令和5年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算を説明ください。徳田課長。

○徳田 剛都市環境課長 都市環境課、徳田でございます。お手元の資料2の45ページをお開きください。土地区画整理費の特別会計について御説明いたします。

歳入でございます。予算書は323ページ、上の1番、一般会計繰入金でございます。予算額3,767万5,000円を計上しております。

その下になります。諸収入のうち保留地払下げ収入、千代水第二地区保留地払下げ収入でございます。予算額は668万7,000円を計上しております。

一番下になります。こちら雑入でございます。これは、電柱7本の事業用地使用料でございます。

したがしまして、歳入合計4,437万2,000円でございます。

次に、46ページを御覧ください。歳出でございます。予算書は325ページ、事業別概要は275ページ上段でございます。千代水第二土地区画整理費のうち、区画整理事業費の保留地処分事務費でございます。事業別概要は275ページの上段でございます。予算額は669万6,000円です。これは、不動産鑑定費用、保留地販売媒介手数料、除草などの維持管理費経費、また、宅地改良業務等を予定しております。財源といたしまして、保留地払下げ収入などを予定しております。

次に、公債費のうち、元金、長期借入金元金償還金でございます。予算額は3,428万円を計上しています。

次に、公債費のうち、利子、長期借入金利子償還金です。予算額は339万5,000円を計上しています。

次に、予備費として1,000円を計上しております。

土地区画整理費特別会計歳出合計といたしまして、4,437万2,000円を計上しております。以上でございます。

◆勝田鮮二分科会長 説明いただきました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二分科会長 なしということで、以上で、都市整備部の審査を終了し、予算審査特別委員会建設水道分科会を終了いたします。

建設水道委員会に切替え 午後3時36分 閉会

令和5年2月鳥取市議会定例会

建設水道委員会・予算審査特別委員会建設水道分科会

令和5年2月27日（月）

7階 第2委員会室

下水道部 (27日10:00～)

----- < 建設水道委員会 > -----

1. 議案(説明・審査):先議分

議案第19号 令和4年度鳥取市一般会計補正予算(第10号)【所管に属する部分】

議案第33号 令和4年度鳥取市下水道等事業会計補正予算(第2号)

2. 議案(説明)

議案第45号 鳥取市集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

3. その他

内水浸水想定区域図の公表について

----- < 予算審査特別委員会建設水道分科会 > -----

1. 議案(説明)

議案第1号 令和5年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第17号 令和5年度鳥取市下水道等事業会計予算

都市整備部 (下水道部終了後)

----- < **建設水道委員会** > -----

1. 議案(説明・審査):先議分

議案第 19 号 令和 4 年度鳥取市一般会計補正予算 (第 10 号) 【所管に属する部分】

議案第 20 号 令和 4 年度鳥取市土地区画整理費特別会計補正予算 (第 1 号)

2. 議案(説明)

議案第 56 号 市道の路線の認定について

議案第 57 号 市道の路線の変更について

3. その他

鳥取駅周辺ウォークアブルな賑わい空間創出実証事業の結果について

新規除雪路線の選定および小型除雪機の貸付基準の見直しについて

----- < **予算審査特別委員会建設水道分科会** > -----

1. 議案(説明)

議案第 1 号 令和 5 年度鳥取市一般会計予算 【所管に属する部分】

議案第 2 号 令和 5 年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算

その他 (都市整備部終了後)

----- < **建設水道委員会** > -----

・令和 5 年度建設水道委員会視察について